
編集後記

『パーソナルファイナンス研究』第10号の内容は、パーソナルファイナンス学会第22回全国大会における統一論題論文、自由論題による論文から成ります。今回の大会のテーマは「庶民金融の歴史」と設定され、第一線で活躍されている先生方および実務家の方々から大変興味深い内容の報告が行われました。

本号に掲載された論文は、招待論文2本、査読論文3本です。まず、堂下論文では、2010年前後における貸金業法の改正に焦点を当て、政治的な動向を振り返りながら法改正の意義を改めて論じています。続く坂野論文では、2000年代以降の米国における金融教育の有効性に関する議論が、既存研究のレビューを通して明らかにされます。伊藤・堂下論文は、歴史をぐっと遡り、昭和初期における銀行合併の実態に迫る内容です。岡本・川本・上村・竹本論文は、新型コロナ禍における高速道路SAPAの利用実態から消費者の財務的意思決定を探るといふ、ユニークな視点でパーソナルファイナンスを捉えています。最後に、佐藤・寺尾・本田・竹本論文では、近年の日本における金融教育プログラムについて、事例に基づく議論と提言が行われています。

このようにしてみると、本号は戦時中から近年に至るまでの、まさに「庶民金融の歴史」というテーマにふさわしい内容となりました。

今回の刊行にあたり、玉稿をご寄稿いただいた先生方には厚くお礼申し上げます。また、投稿論文の審査担当をしていただいた編集委員ならびに厳正な審査をしていただいたレフェリーの先生方に厚くお礼を申し上げます。

末筆ながら、刊行に際して、いつもながら（株）国際ビジネス研究センターの吉廣麻美氏には大変お世話になりました。ここに記して謝意を表します。

2024年3月

パーソナルファイナンス学会
ジャーナル編集委員 樋口大輔

編集委員長 高井 透
編集委員 佐藤幸志

レフェリー（敬称略）

岸本寿生 坂野友昭 清水さゆり 高井 透 竹之内秀行 土井一生 藤原七重 山本崇雄